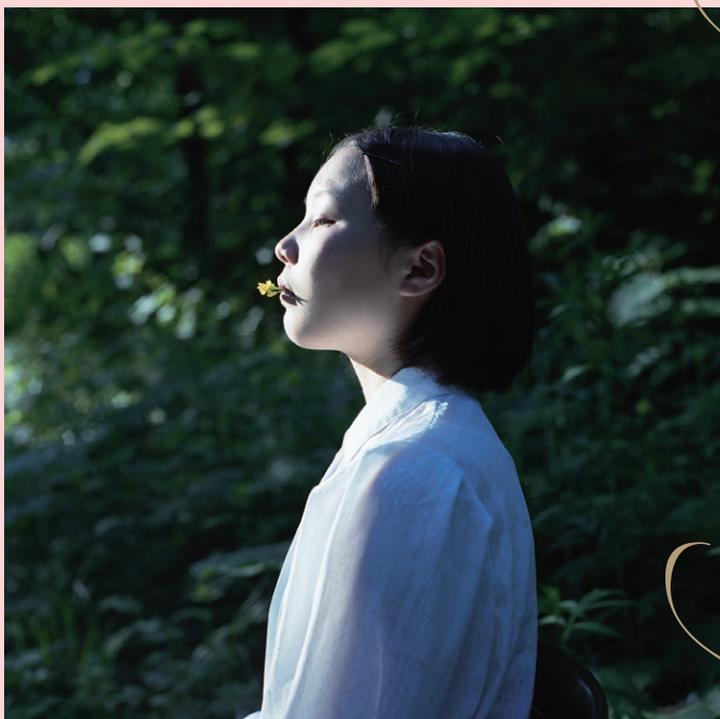


総合開館30周年記念 TOPコレクション  
TOP 30th Anniversary TOP Collection: Continuity and Change



# 不易流行

*Continuity and Change*



2025.4.5 | 日 | — 6.22 | 日 |

東京都写真美術館 3階展示室

恵比寿ガーデンプレイス内

観覧料 一般700(560)円/学生560(440)円/高校生・65歳以上350(280)円

主催 東京都、東京都写真美術館 後援 J-WAVE 81.3FM  
開館時間 10時—18時(木・金曜日は20時まで) ※入館は閉館の30分前まで  
休館日 毎週月曜日(ただし5月5日(月)は開館、5月7日(水)は休館)

○は有料入場者20名以上の団体、当館映画観賞券提示者。

中学生以下および障害者手帳をお持ちの方とその介護者(名まで)は無料。

※各種割引の併用はできません。

※本展はオンラインによる日時指定チケットが購入できます。

※事業は諸般の事情で変更することがございます。最新情報は当館ホームページでご確認ください。

TOP MUSEUM

# 不易流行

総合開館30周年記念 TOPコレクション  
TOP 30th Anniversary  
TOP Collection: Continuity and Change

東京都写真美術館の総合開館30周年を記念するTOPコレクション展を開催します。本展は、学芸員5名の共同企画によるオムニバス形式です。多角的な視点から当館コレクションを選びすぎり、写真と映像の魅力をご紹介します。

本展のタイトル「不易流行」は、江戸初期の俳人・松尾芭蕉(1644-1694)が俳句の心構えについて述べた言葉に由来します。「不易を知らざれば基立ち難く、流行知らざれば風新たにならず[現代語訳: 変わらないものを知らなくては基本が成立せず、流行を知らなくては新しい風は起こらない]」という言葉は、現代の私たちも芸術に対する姿勢として心に刻んでおくべきものです。この「不易流行」の心を大切に、本展は過去の芸術表現を深く理解し、その魅力を今に伝えていくとともに、現在の表現や時代の潮流にもしっかりと目を向けようとするものです。19世紀から20世紀、現代までを取り上げる5つのテーマで当館コレクションを読み解きます。

第一室「写された女性たち 初期写真を中心に」

第二室「寄り添う」

第三室「移動の時代」

第四室「写真からきこえる音」

第五室「うつろい 昭和から平成へ」

出品作家

ジャック・アンリ・ラルティエグ

アウグスト・ザンダー

下岡蓮枝

フェリーチェ・ベアト

オノデラユキ

山元彩香

石内都

塩崎由美子

片山真理

大塚千野

ドロシア・ラング

林忠彦

江成常夫

菱田雄介

植田正治

山上新平

杉本博司

赤瀬川原平

田村彰英

長野重一

潮田登久子

鬼海弘雄

瀬戸正人

大西みつぐ

荒木経惟

山崎博

中野正貴

佐内正史

澤田知子

長島有里枝

野口里佳

杉浦邦恵

古橋悌二 ほか

## 担当学芸員によるギャラリー・トーク

4月11日(金)、4月25日(金)

※手話通訳付き、5月23日(金)、6月20日(金) 各回とも14:00~

当日有効の本展チケットまたは観覧会無料対象者の方は各種証明書等をご持参のうえ3階展示室入口にお集りください。

## 連続対談 過去と未来をつなぐ

「コレクションの歴史から何を学び、未来に伝えるか」をテーマに、第一線で活躍する写真・映像の研究者、教育者とTOPコレクション展の共同企画を行う当館学芸員による対談シリーズです。

5月30日(金)

登壇者 | 鈴木麻弓(日本大学藝術学部写真学科 准教授)、石田哲朗(当館学芸員)

6月13日(金)

登壇者 | 古田亮(東京藝術大学大学美術館 教授)、佐藤真実子(当館学芸員)

各回とも18:30-20:00

会場 | 東京都写真美術館1Fスタジオ 事前申込制、定員50名 参加費 | 無料

※申込方法等の詳細は当館ホームページをご確認ください。

※事業は諸般の事情で変更することがございます。

## インクルーシブプログラム「手話を交えたQ&Aショー」

耳の聞こえない鑑賞案内人の小笠原新也さんが、鑑賞者を代表して、展示会の担当学芸員に、出品作品や展示意図などについて質問する新プログラム「手話を交えたQ&Aショー」です。

日時 | 6月7日(土) 14:00-15:00

会場 | 東京都写真美術館 2階ロビー 当日受付、先着順、手話通訳付き

定員 | 50名 質問者 | 小笠原新也(耳の聞こえない鑑賞案内人)

※参加方法・申込方法等の詳細は当館ホームページをご確認ください。

※事業は諸般の事情で変更することがございます。

予告 総合開館30周年記念 TOPコレクション トランスフィジカル

会期 | 2025年7月3日(木) - 9月21日(日)



表面図版 | ●中野正貴《Udagawa-cho, Shibuya-ku, Jan. 1991》(TOKYO NOBODY)より 1991年 発色現像方式印画 ●植田正治《風景の光景》より 1970-80年 セラチン・シルバー・プリント ●山元彩香《Untitled #168, Hokkaido, Japan》(We are Made of Grass, Soil, Trees, and Flowers)より 2015年 発色現像方式印画  
裏面図版 | 上から ●秋山亮二《映らないテレビ》(スクラップランド)より 1969年 セラチン・シルバー・プリント ●大久保好六《豊子さん》1926年 プロムオイル印画 ●大塚千野《1982 and 2005, Paris, France》(Imagine Finding Me)より 2005年 発色現像方式印画 ●ルイス・ハイム《アメリカへ乗り込む、エリス島》1908年 セラチン・シルバー・プリント ●荒木経惟《冬の旅》より1990年 セラチン・シルバー・プリント すべて東京都写真美術館蔵

東京都写真美術館  
TOKYO PHOTOGRAPHIC ART MUSEUM



〒153-0062 東京都目黒区三田1-13-3 恵比寿ガーデンプレイス内  
Tel: 03-3280-0099 www.topmuseum.jp  
JR恵比寿駅東口より徒歩約7分、東京メトロ日比谷線恵比寿駅より徒歩約10分。当館には専用の駐車場はございません。  
お車でこ来場の際は近隣の有料駐車場をご利用ください。